



2019年1月28日
百合学院小学校
学校通信2月号



励まし合いなさい。
思いを一つにしなさい。
仲良く暮らしなさい。
愛と平和の神が
あなたがたとともにいてくださる。
(Ⅱコリント“13)

判断する力

校長 大石 温子

三日は「節分」です。「節」という字は「季節」の「節」です。「春・夏・秋・冬」という季節の「分かれ目」というのが、節分の意味です。ですから「節分」は一年に、春と夏と秋と冬の変わり目に、4回あるのです。今から300年以上も前の江戸時代からは、中でも冬から春に季節が変わる二月三日の節分だけが大事な行事として残っているのです。「節分」といえば、「豆まき」ですね。「福は内、鬼は外」「福」も「鬼」もみなさんの目には見えません。でも、みなさんの心の中には、ちゃんといるのです。どんな「福」にきてもらいたいのですか？どんな「鬼」に出ていってもらいたいのですか？

さて、イソップ物語に「ロバを売る親子」という話があります。（あらすじ抜粋）

昔、ある親子がロバを売りに町に出かけました。親子はロバに手縄をつけて引いて歩きました。その親子を見た通りがかりの人に「せっかくロバを連れているのだから乗ればいいのに」と言われたので、子どもをロバにのせて歩いていきました。しばらくいくと、今度は別の人が「親を歩かせるとは何て親不孝な子どもだ」というので、子どもをおろして親がロバに乗って歩いていきました。しばらく行くと、また別の人が「子どもを歩かせて親だけが乗るなんて、なんてひどい親だ。一緒に乗ればいいのに」と言われたので、今度は二人でロバに乗って行きました。さらに行くと、また別の人が「小さなロバに二人が乗るなんてかわいそう」というので、それもそうだと思い、親子はロバを狩りの獲物を運ぶように一本の棒に両足をくくりつけて担いで歩きました。やっと、町に近づき、橋を渡ろうとしたところ、担がれたロバが苦しがりて暴れ出し、川に落ちて死んでしまいました。結局、親子は苦労しただけで一文の得も得られませんでした。

この親子はロバを売るために、町へ歩いていく間に5つの方法でロバを運びます。とてもやさしい親子ですが、残念なことに、自分の頭で考えることなく、人に言われるがままに次々と方法を変えています。その結果、ロバは川に落ち、ロバを売るという目的は達成できませんでした。みなさんも目的をめざして頑張っていく時に、たくさんの判断を迫られる時があると思います。その時には人の話に耳を傾けることは大切ですが、自分の頭でしっかりと考えて判断することが重要なのです。

成功するには「チャンス」に恵まれるだけではなく、正しい「チョイス」つまり「選択をする」ことがとても大事なことです。日頃からいろいろな場面において、自分で考えて物事を判断する力を育てていきましょう。

「節分」といえば、「豆」と「鬼」。私が必ず思い出すのが「泣いた赤鬼」のお話です。日本の昔話には「鬼」の出てるお話がたくさんあります。鬼が出てくる絵本の中で、「泣いた赤鬼」は私の大好きな物語です。人間と仲良くしたい赤鬼がいました。でも、どんなに「やさしい鬼です」と伝えても人間たちは信じてくれません。悲しんでいる赤鬼を見て、友達の青鬼が一芝居うつことを考えつきます。その作戦は、青鬼が人間の村で乱暴をはたらき、それを赤鬼がこらしめるというものです。その作戦はどうなったのでしょうか。どうして赤鬼は泣いたのでしょうか。「泣いた赤鬼」はやさしい赤鬼と、もっとやさしい青鬼が主人公の物語です。友情について考えさせられるお話です。



2月19日(火)～2月21日(木)

修学旅行(6年) 沖縄

修学旅行は、小学校の総まとめとして、見聞を広め、友情を深め、経験を豊かにすることを目的としています。沖縄の伝統文化に触れたり、平和について学んだりします。6年生は、自分の目、耳、心で感動を体験し、しっかり学習してほしいです。全員元気で、楽しく、思い出に残る修学旅行にしましょう。

3つの「た」で、修学旅行を有意義に!

- 「た」・・・正しい行動
- 「た」・・・たくさんのあいさつ
- 「た」・・・楽しい学び

< 2月のおもな予定 >



- 1日(金) 4・5年休校日
テストメール配信日
- 4日(月) 全校朝礼
- 5日(火) 校内マラソン大会(予12日)
- 7日(木) 教育相談日
- 8日(金) ことばの祭儀、委員会活動
大縄大会
- 11日(月) 建国記念の日
- 12日(火) 全校朝礼、校内卓球大会開始
- 14日(木) 王たるキリスト幼稚園交流会
- 15日(金) 新入生学校説明会、安全点検
クラブ活動(3年見学)
- 16日(土) 尼崎市小学生駅伝大会
- 18日(月) 全校朝礼
AED講習会(4～6年)
- 19日(火) 修学旅行(6年)
- 20日(水) 修学旅行
- 21日(木) 修学旅行、教育相談日
- 22日(金) 6年休校日、社会見学(5年)
- 23日(土) 課外チアダンス発表会
- 25日(月) 全校朝礼
- 26日(火) 夏服採寸(1～5年)
- 27日(水) NZホームステイ第4回説明会

神さまのみこころ

～イエスさまのたとえ～

「地の塩、世の光」

「あなたがたは地の塩である。だが、塩には塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味をつけられよう。もはや何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。」(マタイ5, 13)

「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、ともし火をともして灯の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのようにあなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。」(マタイ5, 14～16)

イエスさまは私たちに、世の光に「なれ」と言われるのではなく、世の光「である」と言われるのです。私たちは、「なれ」と言われたら緊張するし、そうならないこと、無理なことがたくさんあります。しかし、イエスさまは無理なことは言われず、「である」とおっしゃるので、イエスさまは、私たちの存在そのものを認め、完全に肯定し、私たちがその「である」を恐れずに生きることができるよう、力強く励まされるのです。